

掲載するにあたり万全を期しておりますが、使用する際にはラベルを良くお読み下さい

セニフォス[®]液剤

農林水産省登録	輸第 13815 号	
保証成分	窒素全量	2.9%
	内アンモニア性窒素	1.9%
	硝酸性窒素	1.0%
	水溶性りん酸	23.0%
効果発現促進材	水溶性カルシウムとして	4.5%
有効年限	—	
包装	1.3kg×10本	

■特徴

- ◇作物に吸収されやすい水溶性カルシウムと豊富なりん酸を同時に含む。
- ◇りん酸が作物内で細胞分裂を促進し、カルシウムの移行を高め、果実の日持ち性を向上させる作用がある。
- ◇無効化りん酸の多い土壌で栽培している作物のりん酸補給に適す。
- ◇りん酸がリンゴの PAL 酵素を活性化し、色付きが良くなる。また、りん酸・カルシウム・窒素のバランスを考慮しているので糖度低下やビターピットを起こさない。

■上手な使い方

- ◇りんご：着色促進と糖度の上昇には、玉伸び終了後～着色始期に 2～3 回、500 倍で散布する。
- ◇果菜類：地温の低い時期の慢性的なりん酸およびカルシウム欠乏を回避するには 500～1000 倍で 10～14 日おきに散布する。
- ◇にんにく、たまねぎ：玉肥大期に 500～1000 倍で散布すると、りん酸とカルシウムが速やかに吸収され、鱗茎が充実する。
- ◇ばれいしょ：芋の肥大促進と芋数の増加には、着蕾期と開花終了期の 2 回 1000 倍で散布する。

■栽培上の注意事項

- ◇りん酸欠乏、カルシウム欠乏以外の肥料欠乏などの疑いがある場合には、欠乏成分を含む他の肥料・資材と併用する。
- ◇過度の使用により成熟が早まり減収する場合もあるので、生育状況を観察しながら

適宜散布する。

■使用上の注意事項

- ◇原液は強酸性なので、希釈時には原液が眼に入らないように注意する。
- ◇用途にあった倍数に薄めて使用し、必要以上の高濃度にしない。
- ◇殺虫剤、殺菌剤との混用散布は可能であるが、セニフォス液剤原液と他の原液を混用しない。
- ◇ボルドー液および石灰硫黄合剤との混用は避ける。
- ◇展着剤の加用は必要ない。
- ◇希釈液はその都度使い切る。

®は英国のホーシン（Phosyn）社の登録商標です。

Copyright 2011 Sumika Green Corporation All Rights Reserved.